

(参考様式5)

平成21年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
大阪府	茨木市	見山地区	平成18年度 ～ 平成20年度	平成18年度

1 施策ごとの評価

(1) ソフト

ア 施策の内容： 農業生産の基盤の整備

イ 施策の実績

(コメント)

見山地区都市農村交流活動推進委員会 遊休農地対策小委員会が中心となり、地区内の遊休農地の現状を調査し、合わせて土地所有者の意向調査を実施した結果を踏まえて、遊休農地ハザードマップを作成した。

ウ 施策の効果

(コメント)

地区内の遊休農地の現状を調査し、合わせて土地所有者の意向調査を実施した結果、地区住民の遊休農地解消に向けた意識向上が図れた。その後、遊休農地ハザードマップを基に、毎年、各地区を現状調査していることにより、遊休農地増加の抑止力につながっている。

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2) ハード 【該当なし】

2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	遊休農地の解消等の面積	114	114	100%	
地域					

(コメント)

各地区の遊休農地の現状が、ハザードマップという形で表されたことにより、地区住民の遊休農地解消に向けた意識向上が図られた。

### 3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)

遊休農地の現状を把握することにより、遊休農地増加に対する危機感の認識や解消に対する委員の合意形成が図られ、耕作放棄地再生利用推進事業が採択され事業着手されたことは、本事業を効果的に活用した結果であると認められる。

また、毎年現状調査をしていることにより、遊休農地増加の抑止力となっていることも認められる。

### 4 総合評価

(コメント)

今後も、出来るだけ多くの遊休農地の解消が望まれるが、そのためには、地域の合意形成が最も重要である。その意味では、本地区は、遊休農地の解消に向けた認識も高まっており、今後の遊休農地の解消が期待出来るものとする。

(都道府県の意見)

--